

製品に関する良くあるご質問と回答

Arcserve® UDP 8000 Appliance シリーズ



1. Arcserve UDP 8000 Appliance シリーズ（以下 Arcserve UDP 8000 シリーズ）では標準でどの機能が使えますか？

Arcserve UDP Advanced Edition の機能が使えます。Arcserve UDP Premium Edition の機能である「役割ベースの管理」や「ハードウェアスナップショット対応」、「アシュアードリカバリと SLA レポート」を使用するには、ソフトウェア・アップグレード オプション製品をご購入ください。

2. 仮想スタンバイやインスタント VM 機能を使用できますか？

はい、オプション不要で使用できます。パフォーマンスの観点で、Arcserve UDP 8000 シリーズ とは別の VMware または Hyper-V の仮想基盤に仮想マシンを作成することをお勧めします。

3. テープへバックアップできますか？

はい、二次バックアップ先としてテープ デバイスへバックアップできます。本体購入時にオプションの増設カード（SAS/FC）を併せてご購入ください。

4. 2 ドライブ以上のテープ装置を接続できますか？

はい、ソフトウェア・アップグレード オプションまたは Arcserve Backup for Windows Tape Library Option を購入すれば可能です。

5. Arcserve Backup や Arcserve Replication/High Availability の機能も使えますか？また、バックアップ/レプリケーション先に制限はありますか？

ソフトウェア・アップグレード オプションで Premium Edition にアップグレードする事で Arcserve Backup の全機能と Arcserve Replication のファイルサーバシナリオを、Premium Plus Edition にアップグレードする事で Arcserve Backup と Arcserve Replication/High Availability の全機能を使用できます。

Arcserve Backup を使用するには一次バックアップ先が Arcserve UDP 8000 シリーズ の内蔵 HDD または直接接続されたテープ デバイスである必要があります。

Arcserve Replication/High Availability を使用するにはレプリカ サーバが Arcserve UDP 8000 シリーズ 内の仮想マシンである必要があります。

6. 復旧ポイント サーバ（RPS）間でバックアップデータをレプリケート（複製）する場合、複製先は Arcserve UDP 8000 シリーズ でなければいけないのでしょうか？

いいえ、同じバージョンの RPS であれば、Arcserve UDP 8000 シリーズ 以外でもバックアップデータの複製先にできます。例えば、クラウドにインストールされた RPS にバックアップデータを複製することも可能です。

7. Arcserve UDP 8000 シリーズ にプリ インストールされている Arcserve UDP のバージョンを教えてください。

Arcserve UDP 8000 シリーズ にプリ インストールされている Arcserve UDP のバージョンは [サポートサイト](#) で確認いただけます。

8. Arcserve UDP 8200 と Arcserve UDP 8220 の違いは何ですか？

ハードディスクドライブ（HDD）とソリッドステートドライブ（SSD）の容量が異なり、Arcserve UDP 8220 の方が多くのデータをバックアップして保存できます。それぞれの容量は以下をご覧ください。両製品にこれ以外の機能の違いはありません。

Arcserve UDP 8200 : HDD 12TB、SSD 240GB

Arcserve UDP 8220 : HDD 24TB、SSD 480GB

9. Arcserve UDP 8200 と Arcserve UDP 8200-6 の違いは何ですか？

RAID 構成が異なります。Arcserve UDP 8200 が 4 本の HDD で RAID5 を組んでいるのに対して、Arcserve UDP 8200-6 は 4 本の HDD で RAID6 を組んでいます。両製品にこれ以外の機能の違いはありません。

Arcserve UDP 8220 と Arcserve UDP 8220-6 についても同様で、両製品間で RAID 構成以外の違いはありません。

10. Arcserve UDP 8000 シリーズと従来モデルの Arcserve UDP 7000 シリーズとの違いは何ですか？

Arcserve UDP 8000 シリーズでは、CPU、メモリ、SSD、RAID コントローラを新世代のものに刷新し、従来モデルと比べてバックアップの書き込み性能、同時ジョブの実行性能が向上しています。

ソフトウェアの構成は 7000 シリーズと同じですので、機能や使用方法に違いはありません。

11. ライセンス キーはどのように入手できますか？また、ライセンスの使用量に制限はありますか？

Arcserve UDP のライセンス キーは電子メールで別納されるライセンスプログラム証書に記載されます。登録方法は [UDP Appliance 設置と環境設定手順](#) をご覧ください。ライセンスの使用量に制限はなく、Arcserve UDP 8000 シリーズ が一次バックアップ先である限り、バックアップ対象の台数/CPU 数を問わず利用できます。

12. ソフトウェア・アップグレード オプションを購入して Arcserve Backup の機能を使い直接テープにバックアップするに当たり、容量の制限はありますか？

バックアップ対象データの容量に対して制限があります。ソフトウェア・アップグレード オプションを購入すると、Arcserve UDP 8000 シリーズのストレージと同じ容量のキャパシティ ライセンスが発行され、その容量までのデータを保護できます。バックアップ先となるテープの容量に対する制限はありません。

13. バックアップ容量がバックアップ可能容量を超えた場合は、どうすればよいのでしょうか？

Arcserve UDP 8000 シリーズを追加購入ください。2 台目以降の Arcserve UDP 8000 シリーズを 1 台目の Arcserve UDP 8000 シリーズの管理下に入れ、統合管理できます（※）。なお、Arcserve UDP 8000 シリーズ自体をバックアップする場合を除き、外部のストレージを一次バックアップ先とする事はできません。

※ 旧モデルの Arcserve UDP 7000 シリーズの管理下に Arcserve UDP 8000 シリーズを追加する事も可能です。

※ 既設の Arcserve UDP 8000 シリーズの Arcserve UDP コンソールのバージョンアップが必要になる場合があります。プリインストールされている Arcserve UDP のバージョンをご確認ください。

14. Arcserve UDP 8000 シリーズのオペレーティングシステム（OS）は何ですか？

Windows Server を搭載しています。購入した時期によってバージョンが異なります。

2018 年 4 月 23 日以降の Arcserve 受注分：Windows Server 2016 Standard Edition

2018 年 4 月 20 日までの Arcserve 受注分：Windows Server 2012 R2 Standard Edition

15. Arcserve UDP 8000 シリーズの OS を Windows Server 2012 R2 から Windows Server 2016 にアップグレードできますか？

いいえ、できません。

16. Arcserve UDP 8000 シリーズをファイルサーバやアプリケーションサーバとして兼用できますか？

いいえ、Arcserve UDP 8000 シリーズはバックアップサーバ以外の用途で利用できません。

17. アンチウイルスソフトウェアや UPS 管理ソフトウェア、サーバ監視ソフトウェアはインストールできますか？

はい、Arcserve UDP 8000 シリーズの OS は Windows Server です。インストールするソフトウェアの動作要件を確認して導入してください。

アンチウイルスソフトウェアを導入する場合は Arcserve UDP のインストールディレクトリやバックアップデータの保存先はスキャン対象から除外することをお勧めします。詳しくは Arcserve の [サポートサイト](#) で確認ください。

なお、Windows Server 2016 を搭載した Arcserve UDP 8000 シリーズではデフォルトで Windows Defender（Windows 標準のアンチウイルス機能）が有効になっています。サードパーティ製のアンチウイルスソフトウェアと競合しないようご注意ください。

18. 購入前に動作検証できますか？

Arcserve UDP のすべての機能が 30 日間無償で試せる [トライアル版](#) をご利用ください。ソフトウェア版の Arcserve UDP と Arcserve UDP 8000 シリーズ は全く同じ機能を提供します。または、弊社で定期的開催している [無償ハンズオントレーニング](#) もご利用ください。

19. 購入後に設置場所が変わっても使用できますか？

はい、可能です。設置場所が変わった場合は、[Arcserve ジャパンダイレクト](#) にお知らせください。設置場所情報は、ハードウェアのオンサイトサポートの際に必要になります。

20. Arcserve UDP 8000 シリーズ を SAN に接続できますか？

はい、オプションの増設カードを購入する事で、SAN に接続できます。これにより、SAN 上にデータストアを持つ vSphere 仮想マシンを、SAN 転送モードで高速にバックアップできます。

21. Arcserve UDP 8000 シリーズ本体と同時に購入したオプション増設カードは、本体に取り付けられて納品されますか？それとも自分で取り付ける必要がありますか？

取り付けた状態で出荷いたしますので、お客様にて取り付ける必要はありません。

22. 本体納入後にオプションの増設カードを追加購入できますか？

購入できますが、別途設置作業費が必要になります。作業費は個別にお見積りいたしますので販売店経由でご相談ください。

23. ラックレールの可動範囲を教えてください。

同梱されるラックマウントキットは、25.59～33.46 インチ（650mm～850mm）の奥行に対応します。（上記サイズはラックの外寸ではなく取付ける支柱と支柱の間である点にご注意ください。）

24. 電源ケーブルの仕様を教えてください。

定格:125V-15A、ケーブル長:1.8m、プラグ形状：NEMA 5-15P / IEC C13 のケーブルが 2 本同梱されます。なお、200V 電源を使用される場合は、お客様の方でケーブルをご用意ください。

25. RoHS 指令に対応していますか？

はい、対応しています。

26. メンテナンス（保守）の内容を教えてください。

Arcserve UDP 8000 シリーズ には 5 年間のメンテナンスが標準で付加されています。メンテナンスの内容は以下の通りです。

- ・ 平日 9:00～17:30 のテクニカルサポート（ハードウェアの修理はオンサイトで行います。）
- ・ Arcserve UDP の最新バージョンへのアップグレード

27. メンテナンスはいつから始まりますか？

メンテナンスは納品日から開始されます。ただし、1 か月分のバリュー サポートを同時に購入すれば、納品日より 30 日以内先の日付をメンテナンス開始日として指定できます。

28. メンテナンス期間を5年より長くすることは可能でしょうか？

ご希望の時期・期間によっては対応できる場合があるので、購入前に販売店経由でご相談ください。

29. メンテナンスは更新できますか？

いいえ、メンテナンスは更新できません。メンテナンス期間が終了しても継続して使用できますが、テクニカルサポートへのお問合せや最新バージョンへのアップグレードができなくなります。5年のメンテナンス終了後は、最新モデルの購入をお勧めします。

30. ハードウェアのオンサイト サポートの来社時間について教えてください。

ハードウェアのオンサイト サポートにおける訪問時間は障害箇所が特定できてから4時間以内（※）を目標としています。また、作業は平日の9:00-17:30の間に実施いたします。障害箇所を特定した時刻や想定される作業内容によっては翌日以降の訪問になる事がございます。

※ Arcserve UDP 8000 シリーズの設置場所が弊社サポート拠点（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡）から30km圏内の場合の目標です。設置場所が弊社サポート拠点から30km圏外の場合は、目標時間が異なります。詳細は [Arcserve ジャパンダイレクト](#) にご確認ください。

31. 24時間365日のサポートメニューはありますか？

はい、「24時間365日ハードウェアサポート オプション」を購入する事で、ハードウェアの保守作業およびお問合せの受付時間帯を24時間365日に拡張できます。

※ ただし、訪問までの時間は標準のメンテナンスと同様で、障害箇所が特定できてから設置場所により4時間以内を目標としています。

32. 故障交換された部品はどのように扱われますか

[Arcserve Appliance Support Policy](#) に記載の通り、交換された旧部品の所有権はArcserveに帰属し、Arcserveが持ち帰ります。ただし、データの記憶媒体であるハードディスクドライブ（HDD）およびソリッドステートドライブ（SSD）については、返却不要サービスをオプションで用意しています。

33. OSがWindows Serverとの事ですが、ユーザがWindows Updateを自身で適用する事は許可されますか？

はい、Windows Updateを適用いただいて結構です。お客様の環境に合った適切な方法でWindows Updateを実施してください。なお、Windows Server 2016を搭載したArcserve UDP 8000シリーズではデフォルトで自動更新が有効に、Windows Server 2012 R2を搭載したArcserve UDP 8000シリーズではデフォルトで自動更新が無効になっています。

34. Arcserve UDP 8000 シリーズ 自体のハードウェア障害を検知する方法はありますか？

はい、IPMI および RAID コントローラ管理ツールを使用し Arcserve UDP 8000 シリーズ 自体のハードウェアの障害を検知・通知できます。また、上記ツールを使用してハードウェア障害をメール通知する方法をまとめた[手順書](#)を公開しております。なお、Arcserve が独自に Arcserve UDP 8000 シリーズの状態を監視する事はありません。

35. Arcserve UDP 8000 シリーズ自体のバックアップは可能ですか？

はい、Arcserve UDP を使ったバックアップとベアメタル復旧が可能です。Arcserve UDP 8000 シリーズ自体の障害に備え、バックアップは必ず取得してください。[UDP Appliance 設置と環境設定手順](#)に設定例を掲載しています。また、Arcserve UDP 8000 シリーズ 外部へのバックアップが必要ですので、バックアップ先として使用できる NAS や外付 HDD をご用意ください。

36. Arcserve UDP 8000 シリーズのハードウェア障害後、ベアメタル復旧作業は誰が行うのですか？

Arcserve によるハードウェア オンサイト サポートではハードウェアの交換修理までを行います。その後のベアメタル復旧作業はお客様にて実施いただきます。テクニカルサポートの詳細は、[Arcserve Appliance Support Policy](#) をご覧ください。

37. Arcserve UDP 8000 シリーズ には DVD ドライブが搭載されていませんが、Arcserve UDP 8000 シリーズ 自身をベアメタル復旧 (BMR) するにはどのように復旧メディアを起動するのでしょうか？

以下の3つの方法があります。方法1 および方法2 は Arcserve UDP 8000 シリーズ の背面にある USB ポートを使用します。

方法1：

USB メモリで作成した復旧メディア (ブート可能 BMR USB メモリ) を起動する。

方法2：

USB 接続の外付 DVD ドライブを用意し、DVD に書き込まれた復旧メディア (ブート可能 BMR ISO イメージ) を起動する。

方法3：

BMC のバーチャルメディア機能を使い、Windows 共有上に保存された復旧メディア (ブート可能 BMR ISO イメージ) を起動する。